

### 台湾国際学会で彫刻大会に参加!



2年 山崎 真知子  
(青森県・青森西高校出身)

第6回国際歯科技工学術大会が5月26～30日に台湾で行われ、日本・台湾・中国・韓国から多数の参加者が集まりました。本校からは2年生4人と研修科生7人が参加。本校教員の八巻先生が昨年・一昨年に続き、学術発表を行いました。

私は、同学術大会で行われた歯型彫刻大会に参加させていただきました。本校からの出場枠は3人で、出場希望者が多かったのです

が、校内選抜で3人のうちの1人になることができました。

初めての彫刻大会参加が海外でしたが、言葉がわからないので周囲の方々の会話に左右されることもなく、あまり緊張感を感じずに彫ることができました。終わって他国の参加者の作品を見たら、私たちが日頃作っている彫刻とサイズ感が違い、大きくてビックリ。実際の歯の大きさよりも歯の形を重視されているようで、審査基準の違いを感じました。今回は、今後の彫刻大会参加へのとてもいい経験になりました。まだまだ歯の知識が必要だと痛感したので、歯の形や機能を復習しながら日々のトレーニングに取り組んで行こうと思います。

みんな、真剣に彫ってます!



### AO入試で入学

## 事前学習でウォーミングアップ

1年 朴澤 建太  
(山形県・東北芸術工科大学出身)



大学卒や社会人入学の方も多かったです

画家になりたいと思い、高校を卒業して大学へ進学。絵と向き合ううちに、ものを自分で作って立体を見る力を育てたいと思うようになりました。大学の4年間は漆芸に取り組みましたが、将来の仕事を決めるにあたって、“人の役に立つもの作り”をする仕事に魅力を感じて歯科技工士を選びました。義歯は純ハンドメイドであり、口の中に入って機能をするということがすばらしいと感じています。

入学にあたっては体験入学に参加し、先生方のお話をじっくり聞いて、ここなら大丈夫と思ってAO入試で受験。早期に入学を決めると事前に石こう彫刻の課題を行うことができるので、新しい分野の勉強に対する心の準備ができました。入学までの何カ月かの間に学校とつながりができることも安心感につながりますね。自分は手を動かしてものを作っていることに充実感を感じるので、歯と向き合う毎日が楽しいです。

## 野外炊飯 雨天決行! 楽しかった!

6月1日、七北田公園で恒例の学校行事・野外炊飯が行われました。当日は、あいにく雨が降りましたが、思い出に残る楽しい1日になりました。



1年 佐藤 天哉  
(宮城県・仙台育英学園高校出身)

私たちのグループは、2年生5人、1年生4人の9人、私は副班長になりました。料理するのが好きなので、当日は魚のタラと野菜をたくさん入れてホイル焼きを作りました。ニンニクやオリーブオイルを使い、唐辛子をトッピングするのがポイント。バーベキューという“肉”というイメージが強いですが、肉以外のものもおいしく調理できることを伝えたいな...と思ってこのメニューに。辛い味付けにしたら、台湾に行った先輩たちが「台湾の味がする!」と言って盛り上がりしてくれました。最初は小雨だったのが、途中からどしゃぶりになってしまって橋の下での野外炊飯になりましたが、そんな経験も初めてで、それはそれで楽しかったです。フライングディスクで遊んでいて、川に飛び込んでしまった先輩もいたりして...(笑)。

本校のレクリエーションは、2年生と1年生でグルーピングされるので、先輩たちと親しくなるチャンスもたくさん!先輩たちとの繋がりは、勉強のことや学校生活について教えてもらえることがいっぱいあるので心強いです。



おいしく出来ました! みんなで食べると最高!

